

《担当者名》 院長 / 渡邊 周志 指導責任者 歯科衛生士 / 山本 頼佳

【概要】

大学と大学病院等の基礎及び臨床の講義・実習で得た基礎知識、技術を一般開業医で再確認する。また、患者及びデンタルスタッフとの触れ合いから実習生としての責任ある行動を基に将来あるべき歯科衛生士の姿を見い出すことが目的。

【学修目標】

最大の到達目標は、臨床実習の中から医療従事者として奉仕の精神を学びとる。

常に向上心をもちつづけ、必要な技能を習得する。

歯科衛生士が歯科診療の中で非常に重要な役割を果しており、すばらしい職であることを理解する。

常に本校の学生である自覚をもちつづけ、最後まで実習を終えること。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	一巡目 1. 診療全体の流れを把握する	主に見学が主体となる。 診療の全体の流れを把握し器材の準備、消毒等の基礎的な事柄を理解し実行にうつせる様にする。	渡邊 周志 山本 頼佳
	第二巡目 1. 見学 2. 介助、補助を行う 3. 実技 保存科の補助、介補 1. 修復、歯内、歯周	一巡目の見学を基に、診療の補助、介助という形で診療に積極的に参加する。 コンポジットレジン修復 仮封セメントの練和 印象材及び合着セメントの練和 対合歯印象 根管治療 a. 線栓巻き（号数に合ったもの） b. 根管充填（スペレッダー、プラグー、ピンセントの受渡し） スケーリング時のバキューム ブラッシング指導（ブラーク及びポケットチャートの記入） 抜歯及び手術の器材の準備 抜歯時の止血 投薬 印象材、セメントの練和 デンチャー及びクラウンブリッジの調整 合着用及び仮着用セメントの口腔内での除去 暫間被覆冠の作製 デンタル及びオルソフィルムの現像 X線像の観察	
	口腔外科の補助、介補		
	補綴科の補助、介補		
	放射線科の補助、介補		

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

知識

技術

実習態度

身 装

口頭試験

特に、個人の実習に対する積極性及び総合的判断能力を重点的に評価する。

【教科書】

「専門科目の教科書」

【参考書】

「臨床実習帳」

【学修の準備】

- ・時課の授業範囲を予習し専門用語を理解しておく。